

## リハビリスタッフが西日本豪雨災害支援のJRAT活動に参加しました

平成30年7月の西日本豪雨災害に対する医療支援の一環として、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会のJapan Rehabilitation Assistance Team (JRAT) の一員として、当院のリハビリスタッフ1名が、7月19日から5日間に渡り、現地災害対策本部のロジスティクス要員として活動を行いました。

### 活動1：調整本部に於いて

倉敷市保健所・備中県民局に立ち上がった、倉敷地域災害保健復興連絡会議（Kurashiki Disaster Recovery Organization：以下KuraDRO※写真①）内の、岡山JRAT調整本部・リエゾンとして、各団体との連絡・調整・情報収集から、JRAT活動本部の後方支援活動を行いました。

災害フェーズも移行し、ライフラインの復旧に伴い、医療支援の環境は整ってきたものの、損壊家屋も多く避難所生活を余儀なくされる方も多い中で、避難所内の保健・福祉の分野のニーズが高くなってきていました。

調整本部ロジスティクスでは、避難所ニーズのまとめ、JRAT活動本部への情報提供、KuraDROでの行政・各種団体へのJRAT活動報告（※写真②）などを行いました。



写真①（KuraDRO内）



写真②（KuraDRO会議）

### 活動2：倉敷リハビリテーション病院に於いて

以下の活動を実施しました。

- 1) エコノミークラス症候群、生活不活発病に対する予防活動、体操指導
- 2) 一次避難所の生活環境評価、整備支援（衛生環境状況、日常生活動作環境など）
- 3) 介護保険サービス利用者の調査および状況確認（特に要介護者）
- 4) 福祉用具、歩行補助具等の要望調査・配布申請